



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT1304S		
科目名	インテリジェンス		
担当教員	小谷 賢		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 1		
講義室	1501	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1-E 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し、利用することができる。 D P 4-I 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（60%） H 1 論理的思考（30%） I 3 情報分析（10%）		
教員の実務経験	2004年から2016年にかけて防衛省防衛研究所に所属し、各省庁のインテリジェンス部門の担当者と意見交換や議論を行い、日本のインテリジェンス改革に関する提言書や教育用のテキストを執筆。その間に実務家に対する教育にも従事。また2005年から2007年にかけては同研究所情報発信調整官として、防衛研究所の情報発信業務に携わり、2008年から2009年にかけては英国王立防衛安保問題研究所（RUSI）において、インテリジェンスの調査業務に従事した（第14回）。 2018年には衆議院情報監視審査会において特定秘密保護法に関わる参考人質疑を行った（第12回）。		
成績ターゲット区分	成績ターゲット区分 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	外交・安全保障や危機管理分野における基本の1つは、情報を収集、分析、評価して判断の材料となるインテリジェンスを作り出し、それを政策や危機管理に活かすことです。政策判断や危機管理を行う上で、必要とされる正確な情報が政策決定者に提供されることは不可欠であるので、本講座は危機管理や安全保障を学ぶものにとっては土台の部分となるべきものです。インテリジェンスのプロセスは、政策立案者が必要な情報のリクワイアメント（情報ニーズ）を提示することから始まり、情報機関がそれに応じた情報収集、評価、分析を行ってインテリジェンスを作成して提示、政策立案者がそのインテリジェンスに基づいて政策決定や危機管理を行うことにあります。この所謂インテリジェンス・サイクルはどうあるべきか、またインテリジェンス機関の実態について、国内外の事例を取り上げて考察し、情報収集の実態や情報分析の手法、さらには政治と情報機関の関係など、インテリジェンスを扱う上で必要な基礎的な知識について説明していきます。 授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。 （キーワード）危機管理・インテリジェンス・情報分析・安全保障		
授業の趣旨	■ 副題 危機管理や安全保障分野におけるインテリジェンス（情報）の扱い方について学んでいく。 ■ 授業の目的		

	インテリジェンスに関する基礎的知識を習得し、情報収集や分析の手法を涵養することで、ニュースやネットに溢れる情報から必要なものを取り出し、自分なりに分析できるようになることを目的とする。 ■授業のポイント 古今東西のインテリジェンス活動の歴史や現状、また理論的な考察によって、国や組織レベルの情報活動の実態について理解すると同時に、公開情報収集の手法や情報分析、情報セキュリティの概念などについても理解を進める。また諸外国の雑誌や新聞などを読み解く際も、同分野の知識は欠かせないものである。将来的に危機管理や安全保障を学ぶ者にとって、インテリジェンスへの理解は土台となるべき分野であるため、インテリジェンスという言葉から具体的な事例や手法が連想されるようになるまで同分野への理解を深めてもらう。	
総合到達目標	・データとインフォメーション、インテリジェンスという概念の区別が説明できるようになる。 ・インテリジェンスの運用を理解することで、それを危機管理や安全保障の現場に応用できるようになる。 ・情報セキュリティの重要性を理解することができるようになる。	
成績評価方法	以下の方法で総合的に評価する。 (適用ルーブリック：割合) E1－70%, I3－30% (成績評価手段) 授業中のリアクションペーパー×14(専門知識の理解について)：70%, 期末レポート(専門知識の応用、与えられた材料による情報分析)：30% (フィードバック方法) クラスルーム上で解説を行う。	
履修条件	特になし。	
履修上の注意点	講義中に騒いだり走り回ったりしないように。食事やスマホ、ゲーム等も禁止。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス(授業の進め方、評価方法等)、インテリジェンス概論の導入部 ②授業概要 データとインフォメーション、インテリジェンスはどう違うのか、情報セキュリティの重要性について。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) ネットで「インテリジェンス」という言葉を検索し、どのような意味で使われているのか調べてくる。 ④復習(120分) 小谷賢『インテリジェンス』11-15頁を読む。スパイものの映画や小説を読んでみる。
	2	①授業テーマ インテリジェンスの歴史－古代～近代 ②授業概要 スパイは人類の職業の中で最も古いものの一つと言われ、暗号は文字の発明と同時期に考え出されたように、他者の秘密について知ろうとすることは、古今東西で行われてきた。そのような情報や秘密を取り巻く歴史について学んでいく。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 小谷賢『インテリジェンス』26-37頁を読んでくる。 ④復習(120分) 配られた資料に必ず目を通しておく。
	3	①授業テーマ インテリジェンスの歴史－近代～現代 ②授業概要 第一次世界大戦から冷戦、冷戦後の国際政治における国家インテリジェンスの歴史について学ぶ。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 小谷賢『インテリジェンス』32-41頁を読む。 ④復習(120分) 配布資料に目を通す。第二次世界大戦、もしくは冷戦における情報の役割について纏めてくる。
	4	①授業テーマ 情報組織論 ②授業概要 組織における情報の運用の基本を学び、どのような組織形態が情報を扱うのに適しているのかを学ぶ。各国の情報組織の概要や特徴について。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 小谷賢『インテリジェンス』42-59頁を読む。 ④復習(120分) 米英仏独露中イスラエルから一国を選び、その国のインテリジェンス組織について纏めてみる。
	5	①授業テーマ インテリジェンス・サイクル ②授業概要 インテリジェンスの実際の運用について学ぶ。インテリジェンス・サイクルは情報要求から収集、分析、評価、配布、フィードバックに至るプロセスの事である。講義の最後の時間に確認テストを行う。フィードバックについては次回講義内で行う。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 小谷賢『インテリジェンス』59-123頁を読む。確認テストに向けてこれまでの内容を纏めておく。

	④復習（１２０分） 自分の身近な分野においてもインテリジェンス・サイクルが確立しているかどうか確認してみる。
6	①授業テーマ 情報収集その① ②授業概要 情報収集の手段について学ぶ。それらは、人的情報収集（ヒュミント）、通信傍受による情報収集（シギント）、衛星画像情報（ジオイント）等がある。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 前回の小テストの課題見直しと、小谷賢『インテリジェンス』67-105頁を読んでくる。 ④復習（１２０分） 配布資料に目を通し、衛星画像の利用方法について自分なりに考えてみる。
7	①授業テーマ 情報収集その② ②授業概要 前回で学んだ情報収集手段以外のものについて学ぶ。それらは、痕跡情報（マシント）、公開情報（オシント）等がある。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』97-105頁を読み、新聞から自分の関心のある分野についての公開情報を集めてみる。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読し、集めた公開情報についてその確度について検証する。
8	①授業テーマ 情報分析 ②授業概要 集めたインフォメーションを分析し、いかにインテリジェンスに昇華するか、様々な分析手法や分析の基本について学ぶ。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』105-123頁を読む。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読する。前回集めた公開情報を分析してみる。
9	①授業テーマ 情報の配布・利用 ②授業概要 収集、分析した情報をカスタマーに配布する過程を学ぶが、サイクルにおいてはこの部分が一番難しい。なぜ難しいのだろうか。授業の最後に確認テストを行う。フィードバックは次回で解説。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』123-157頁を読む。確認テストに向けてこれまでの内容を纏めておく。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読すること。確認テストの課題チェック。
10	①授業テーマ 情報保全とカウンター・インテリジェンス ②授業概要 収集した秘密が漏れないようにするための方策や制度について学ぶ。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』157-188頁を読む。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読する。自分の身の回りのセキュリティ（パスワード等）についてチェックしてみる。
11	①授業テーマ 秘密工作 ②授業概要 情報機関が行うプロバガンダ、破壊工作、政治工作等について学び、法的、倫理的な観点から検証する。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』157-208頁を読む。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読する。
12	①授業テーマ インテリジェンスの統制と監視、法的規制 ②授業概要 前回の講義で様々な秘密工作について学んだが、国はどのような行為を法律や制度によっていかに制限しているのかを学ぶ。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』209-238頁を読む。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読すること。9・11同時多発テロ以降の米国の法制度について調べてみる。
13	①授業テーマ 国際関係とインテリジェンス ②授業概要 国際関係における情報機関の役割－バックチャンネルやインテリジェンス協力等について学ぶ。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』239-256頁を読む。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読すること。
14	①授業テーマ 日本のインテリジェンスと最近のインテリジェンス事情 ②授業概要 日本のインテリジェンス機関やその役割、根拠法について学ぶ。さらに最近の世界的なインテリジェンスの動向についても学ぶ。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（１２０分） 小谷賢『インテリジェンス』257-278頁を読む。 ④復習（１２０分） 配布資料を熟読する。日本のインテリジェンスが抱える問題を自分なりに列挙して纏めてみる。

	15 ①授業テーマ 期末テスト ②授業概要 これまでの授業内容から論述式（1000文字程度）のテストを課す。フィードバックについては、授業の最後に解説を行う。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習（120分） テストに向けてこれまでの講義の内容を纏めておく。 ④復習（120分）これから自分が選択する領域の中で、インテリジェンスで学んだことがどのように応用できるのか考えてみる。
関連科目	危機管理学概論Ⅰ（RMGT1301）、危機管理学概論Ⅱ（RMGT1302）、安全保障論Ⅰ（RMGT3551）
教科書	■小谷賢『インテリジェンス』（筑摩書房）。 毎回ポータルサイトにパワーポイント資料をアップするので適宜ダウンロードを行うこと。
参考書・参考URL	■小谷賢「インテリジェンスに関するジレンマ」（『ジレンマ+』）： http://dilemma-plus.nhk-book.co.jp/person/3755 ■小谷賢「データに付加価値を与えるーインテリジェンスとは何か」（『シノドス』）： https://synodos.jp/info/20293 ■マーク・ローエンタール『インテリジェンス』（慶應義塾大学出版会）、小林良樹『インテリジェンスの基礎理論 第二版』（立花書房）、北岡元『インテリジェンス入門』（慶應義塾大学出版会）
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー：水曜日3限、金曜日3限 ■連絡先：開講時に告知する
研究比率	■危機管理学領域での対応 災害マネジメント20%、パブリックセキュリティ30%、グローバルセキュリティ30%、情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%、法学20%

